

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	神戸町立下宮小学校		
実 施 期 間	平成26年10月25日(土)		
実 施 概 要	<p>1 地域伝統の手業講座とスポーツ ①文芸的講座 ②昔の遊び等講座 ③ふれあいスポーツ ④餅つき</p> <p>2 みこし行列 ① 全校児童、幼稚園によるみこしを地域に披露する取組 ②地域の区長の話聞く会</p>		
実 施 内 容	<p>学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/>自然 <input checked="" type="checkbox"/>歴史 <input checked="" type="checkbox"/>文化 <input type="checkbox"/>産業 <input checked="" type="checkbox"/>その他</p>		
	<p>公開の方法 <input type="checkbox"/>授業公開 <input type="checkbox"/>成果発表 <input checked="" type="checkbox"/>交流活動 <input checked="" type="checkbox"/>講演会等</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>地域行事等参加 <input type="checkbox"/>その他</p>		
来 校 者 数	保 護 者	160	人
	地域関係者	60	人
実 施 状 況	<p>校区祭(名称 白鳩博) 8:30~14:30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニングでは、計画委員が「かがやけえがお かがやけぼかぼか みんなでつながる白鳩博」のスローガンの発表と進行を務める。地域の打ち囃子保存会による太鼓等の演奏、10講座に関わる地域住民の講師、卒業生の中学生ボランティア、来賓の紹介等を行った。 ・第1部のふるさとまつりは、10講座を行った。9講座の講師20人が各教室に分かれ、児童、保護者と共に絵手紙、花アート、花もち、手品、なわなひ、紙飛行機、竹とんぼ、こま、折り紙の活動を行った。さらに、もう1講座は公民館推進活動の協力により、10人の体育推進委員が親子ふれあいスポーツ行った。一方、前日から児童の餅つき体験や昼食のための餅つきを区長等が行い、地域の中学生5人が手伝った。 ・第2部のみこし行列は、校区の地域住民の応援の中、みこしを担いで地区を練り歩く取組である。10月から6年リーダーを中心にみこし作りが始まった。異年齢集団の4基と、隣接の幼稚園も加わり合計5基を作った。行列の途中休憩も兼ねて、その地区の区長から地区にまつわる特長や歴史的に続く自警団等の講話を聞いた。 ・クロージングでは、計画委員が児童の感想等を求めると、全員が挙手できた。区長、PTA役員も同席しこれまでの取組を労う言葉を頂いた。 		
成 果 及 び 課 題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白鳩博は33回を迎え、学校と地域を繋ぐ伝統行事として定着している。講座では地域住民が講師となり、児童と保護者が一緒に参加できることが意義があり、誇らしいことである。また、区長始め多くの方々がこの行事のために、何カ月も前から物理的、経済的両面で関係機関と連携して支え構想されている。 ・みこし行列では、沿道に住民の方が立って応援される。長い距離を歩く地区もある(今年は2.5km)ため低学年にとってはつらいだろうが、熱心に掛け声をかけながら、喜んで取り組んでいるのが観る人の感動を呼んでいる。 ・中学生ボランティアは手伝う姿や態度が褒められた。中学校や自宅にもお礼の言葉を添えたところ、中学校では放送による紹介もしていた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑い時期を避けたいので、開催時期の検討が必要である。 		